

第1日目

6月28日(木)

受付開始 12:00

オープニング 12:30 | 開会行事 13:00

A会場 米子コンベンションセンター

オープニングA 【人権バンド しんゆう】

「楽しくなくちゃ人権学習じゃない」を合い言葉に、江府中学校PTA人権教育推進部の仲間や先生が組んだバンド。各地で音楽と語りによる楽しい学習を進めています。

講演A1 13:30~15:00

「同性婚から見た多様な性、多様な家族」

南 和行 (弁護士)

世界的に性的マイノリティに対する差別撤廃への動きが進む中、日本ではまだ合法化されていない同性婚を起点に、多様な性、多様な家族のあり方を考えましょう。夫夫(ふうふう)で弁護士事務所を営む講師からの発題です。

講演A2 15:15~16:45

「沖縄から問う 平和と民主主義」

三上 智恵 (ジャーナリスト/映画監督)

差別の空気や暴力の気配が沖縄に大きくのしかかっています。安心・安全のための「風かたか(風よけ)」になって次世代を守りたいと願い、行動する沖縄の人たちからの問いに、本土に暮らす人たちはどう応えますか。

B会場 米子市公会堂

オープニングB 【出上十七夜 ~ MONOGATARI ~】

今からおおよそ100年前の8月16日の夜、観音様の盆踊りで追い返された村人たちが、次の年の8月17日に始めた盆踊り。その時の思いを伝える太鼓の響きです。

講演B1 13:30~15:00

「鳥取県の障がい者差別解消の取り組みについて」

鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局

「この子らを世の光に」の思想を基にしたあいサポート運動、そして、2013年10月「手話言語条例」の制定、また、2017年9月「あいサポート条例」(愛称)を施行するなど障がい者が暮らしやすい社会づくりを進める鳥取県の取り組みに学びます。

講演B2 15:15~16:45

「ヘイトスピーチ解消法の具体化に向けた自治体の取り組み」

文 公輝 (多民族共生人権教育センター事務局長)

師岡 康子 (弁護士/外国人権法連絡会)

高橋 秀典 (ヘイトクライムをなくそう!神戸連絡会世話人)

法律に先駆けて全国初のヘイトスピーチを規制する条例を制定した大阪市。規制に取り組む自治体の先頭を走る川崎市。そして2017年秋現在、条例制定の動きを加速させている神戸市。それぞれの自治体の現状と課題を伺います。

第2日目

6月29日(金)

受付開始 8:30

A会場 米子コンベンションセンター

講演A3 9:00~10:30

「部落差別解消推進法の具体化に向けた自治体の取り組み」

鳥取県人権局 部落解放同盟新潟県連合会
部落解放・人権政策確立要求京都府実行委員会

部落差別は許されない、地方公共団体はその地域の実情に応じた施策を講ずるよう努めるものとする—そう明記する部落差別解消法を具体化するための各地の自治体の取り組み、その現状と課題を伺い、今後の取り組みのヒントをつかみましょう。

講演A4 10:45~12:15

「ハンセン病問題から学んだこと 若者たちの声」

延 和聰 (盈進中学高等学校ヒューマンライツ部顧問)

高橋 和 (2016年度ヒューマンライツ部部长)

広島県福山市にある私立盈進中学高等学校ヒューマンライツ部は、1997年から国立療養所長島愛生園を訪問し、歴代の部員達は入所者の人生からさまざまなことを学んでいます。彼女たちの学びは私たちに大きな示唆を与えてくれるでしょう。

B会場 米子市公会堂

講演B3 9:00~10:30

「障害者差別解消法 見直しに向けて」

金 政玉 (明石市福祉局生活支援室 障害福祉課共生福祉担当課長)※予定
西尾 元秀 (障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議事務局長)

障害者差別解消法は施行3年後に法律の効果を検証し、必要に応じて内容を見直しすると定めています。講座開催時には施行2年を経ている法律の効果と、さらに効果をあげるための課題を、行政と当事者団体から報告して頂きます。

講演B4 10:45~12:15

「鳥取県における部落差別の実態と課題」

坂根 政代 (部落解放同盟鳥取県連合会書記長)

2002年「地対財特法」失効後の鳥取県における部落差別の実態について、鳥取県で起きた差別事件を基にして、そして、見えない差別の現実を可視化していく「聞き取り」で見えてきた差別の現実について報告します。